

IV 事業

1 令和4年度事業報告

令和4年度事業の概要

当財団は、新潟市民の芸術文化及び歴史文化の振興を図り、もって、自主的自発的な市民文化の創造に寄与することを目的とする公益財団法人として、新潟市において感動し驚きに出会い、そして共に生きる絆を創る人々の文化的プラットフォームの構築に寄与し続けるための事業展開に努めています。

令和4年度も令和元年度から続く、新型コロナウイルスの影響により多くの主催事業・貸館事業が中止や延期となってしまいましたが、市民の自主的な文化活動を支援するとともに、感染防止対策を最大限に行いながら、指定管理施設を生かして、市民各層の皆さまに多様な分野による質の高い創造的な芸術文化事業を提供し、合わせて普及と育成に努めました。また、歴史博物館等を通じ、「みなとまち新潟」の魅力を広く皆さまから楽しんでいただくための事業を展開しました。

財団運営では、新潟市の財政が厳しい状況にある中、事業の効率化に努め、経費の圧縮と節約を常に意識しながら取り組みを進めました。

当財団の事業体系は以下のとおりです。

(公益目的事業)

公1 事務局事業

- 1 文化事業
 - ・アーツカウンシル新潟の運営
 - ・主催・共催、表彰顕彰事業
- 2 会議の開催状況

公2 芸術文化会館・音楽文化会館・県民会館事業

- 市民芸術文化会館及び音楽文化会館
 - 1 文化事業
 - 2 文化施設管理受託事業
- 県民会館
 - 1 文化事業
 - 2 文化施設管理受託事業

公3 歴史博物館等・旧小澤家住宅事業

- 歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等
 - 1 文化事業
 - 2 文化施設管理受託事業
- 市文化財旧小澤家住宅
 - 1 文化事業
 - 2 文化施設管理受託事業

(収益事業)

収1 付帯・施設貸与事業

- 1 付帯事業（各施設）
- 2 施設貸与事業（各施設）

事業報告の詳細については、次に記載のとおりです。

1 文化事業 57,076,706 円

「アーツカウンシル新潟」の運営を通じ、市民の自主的な文化芸術活動を支援したほか、新潟市の文化的な環境の充実、各分野の文化活動の活性化を目的とした事業を実施した。

(1) アーツカウンシル新潟の運営 44,134,476 円

市民の文化芸術活動の活性化を図るとともに、国際観光の振興や経済活動の推進につなげ、持続的な文化創造交流都市の推進体制を構築することを目的に、1.市民文化芸術活動支援、2.調査・研究、3.情報発信、4.企画立案の機能を有する専門人材による組織「アーツカウンシル新潟」の運営を行った。

【人員確保・人材育成】

- H28年度 専門人材の募集・配置 [PD1名、PO2名、スタッフ（臨時）1名]
・設立日 平成28年9月26日
- H29年度 専門人材の公募・選考 [PD1名、PO5名、スタッフ（臨時）1名]
- H30年度 専門人材の公募・選考 [PD1名、PO4名、スタッフ（臨時）1名]
- R2年度 専門人材の公募・選考 [PD1名、CPO1名、PO3名、スタッフ（臨時）1名]
- R4年度 専門人材の公募・選考 [PD1名、PO5名（内1名は7月着任）、スタッフ（臨時）1名]

【環境整備】

- イオン電子マネー「にいがた BUNKA WAON」（ご当地 WAON カード）の販売促進
（2021年3月1日～2022年2月28日利用分 1,177,319 円の寄付を受領。）

① アーツカウンシル事業（42,075,957）

【文化芸術活動の支援】

文化芸術等に関する市民団体等の相談窓口を通じて、企画、広報、財源確保策などの助言、支援を行った。

また、文化芸術活動の基盤、仕組みづくり及び環境の創出をめざす取り組みに特化した助成事業である「文化芸術基盤整備促進支援事業」を平成29年度から引き続き実施し、助言（相談）・審査・支援を行った。令和2年度に新設した「文化芸術団体ステップアップ助成金」も継続し、団体の運営等における課題解決に向けた取り組みを対象に募集・助言（相談）・審査・支援を行った。さらに令和4年度は、従来の「新潟市文化芸術活動支援助成事業」や「水と土の文化創造都市市民プロジェクト補助金」を統合・改変し、「テーマ別プロジェクト助成」を新設し、文化芸術活動をとおしてより豊かな地域社会の実現をめざす取り組みを対象に募集・助言（相談）・審査・支援を行った。

その他、市や国、民間財団等が実施する助成制度を活用した支援を行った。

- 相談窓口の開設
 - ・相談対応件数 92件（71団体等から）
 - 一般相談 14件
 - 助成関連 66件
 - コロナ関連 12件
 - ・行政相談 8件
- 文化芸術基盤整備促進支援事業の継続・助言（相談）・審査・支援
（申請件数1件（継続）、採択件数1件、交付確定総額735,000円）
- 文化芸術団体ステップアップ助成金の募集・助言（相談）・審査・支援
（申請件数2件、採択件数1件、交付確定総額135,000円）
- テーマ別プロジェクト助成金の募集・助言（相談）・審査・支援
（申請件数9件、採択件数4件、交付確定総額1,115,000円）
- 市や国、民間基金等が実施する助成制度を活用した支援への助言
 - ・内田エネルギー科学振興財団 採択1件
 - ・民間助成制度の紹介

【調査・研究】

- 現地視察及び支援を通じた市内文化芸術団体に係る実態調査
- 次期『新潟市文化創造交流都市ビジョン』の改訂、策定に関する調査
- コロナ禍での文化芸術活動の実施に関する情報収集

【情報発信】

ホームページの運営を行うとともに、有識者等ゲストを交えた交流企画「語りの場」およびトークイベントを開催した。

また、地域アーツカウンシルの設立を検討する自治体からの視察、ヒアリング（オンラインを含む）等について、受け入れを行った。

- アーツカウンシル新潟 公式ホームページの構築・運用
 - ・年間ビュー数：40,670ビュー
- アーツカウンシル新潟 SNS の運用
 - ・facebook ページ：投稿件数（4月1日～3月31日）：45件、ページいいね数：657件、ページフォロワー数：881件
 - ・twitter：投稿件数（4月1日～3月31日）：29件、フォロワー数：143件
 - ・Instagram：投稿件数（4月1日～3月31日）：100件、フォロワー数：232件
- ゲスト講師を交えた交流企画の開催
 - ・「語りの場」の開催 実施回数：計3回、参加104人
 - 第1回 なぜ、地域でアートに取り組むのか？～新津と西会津 2つの地域の取り組みから～ 矢部佳宏、土田貴好、小倉藍歌 [令和4年7月22日(金)、53人]
 - 第2回 社会と芸術のまじわりを考える ①舞台芸術編
武田知也 [令和5年2月1日(水)、31人]
 - 第3回 社会と芸術のまじわりを考える ②持続性編
武田知也 [令和5年3月4日(土)、20人]

※講師敬称略

- ・トークイベントの開催 実施回数：1回、参加21人 [令和4年5月10日(火)]
 〈モチーフ〉としての都市・新潟市の魅力 写真家が切り取る都市の諸相
 登壇：ルカ・レグリーズ、吉原 悠博、モデレーター：水島 優
 通訳：イーエン・メギール
 ※講師敬称略
 ※新潟市芸術創造村・国際青少年センター（ゆいぽーと）と共催

- 視察、ヒアリング受入実績
 - ・受入自治体・機関数：5自治体・機関
 - ・受入自治体・機関名：アーツカウンシル東京、千葉県、林承煥氏、札幌市、内閣府

【企画・立案】

市の文化政策として行う事業に対して、調査等に基づく専門的な見地から助言や提言を行った。

- 行政関係からの相談件数 5件
- 新潟市総合計画策定（協力）
- 文化創造交流都市ビジョン成果検証および新ビジョン策定（協力）
 - ・文化に関する市民アンケート調査とりまとめ（協力）
 - ・新ビジョン策定に係る若者ワークショップ開催（協力）
- 文化芸術による共生社会推進事業（表現活動調査及び展示）協力
- Noism 評価会議（協力）
- 地域の祭り・イベント等用具整備事業費補助金（広報等協力）
- 文化芸術振興費補助金助成金交付要望書作成検討メンバー
- 新潟市観光コンベンション協会ネットワーク構築（協力）
- 新潟市文化・スポーツコミッションアドバイザー会議 委員（杉浦）
- ゆいぽーとアーティスト・イン・レジデンス事業選定委員会委員（作家選定）（杉浦）

【コロナ対策関連】

- 新潟市新型コロナウイルスに関する文化芸術相談窓口の対応
- 『新潟市文化芸術活動の実施に関する活動再開ガイドライン』の改訂

② 文化庁他、委託・補助事業関連 (2,058,519)

- 新潟県文化芸術専門相談窓口業務
 - ・新潟市以外を拠点とする文化芸術関係者を対象として、新型コロナウイルスの影響を受けている活動維持・継続を支援するため、感染予防対策を講じた公演や活動手法、活動支援の受け方など、幅広い相談を受けられる専門相談窓口を設置した。
- アーツカウンシルネットワーク（AC-net）に関する運營業務
 - ・独立行政法人日本芸術文化振興会（日本版アーツカウンシル）が主催する全国の地域アーツカウンシルの連携組織である AC-net の運營業務を受託し、各地のアーツカウンシル機能を持つ組織および設立を検討している団体と連携調整を行い、ミーティングの開催運営、情報収集・提供を実施した。

(2) 坂口安吾顕彰事業 10, 539, 442 円

新潟市が管理する安吾 風の館（旧市長公舎）で下記展覧会を開催したほか、「坂口安吾デジタルミュージアム（HP）」の充実を図り、安吾顕彰団体と連携した生誕祭を行った。新型コロナウイルスの影響で激減した団体見学等の回復がみられ、また高校生、大学生の課外活動、各自治体等主催の見学、新潟市が行う市政さわやかトーク宅配便への協力など安吾の普及啓発に努めた。山口県、徳島県への作品資料の貸出もあり、他文学館との交流、協力が一層他県からの来館者の増加につながっていると思われる。

・「原作 坂口安吾 ー映画を中心にー」展

開催日 令和4年4月9日～8月21日 95日間 入館者 1,272名

内容 安吾作品を原作として映画化された7作品を紹介。安吾作品は演劇や朗読などで扱われることが多いが、このたびは映画化された作品をとりあげた。シナリオ、ポスター、チラシ、批評等を通じて、映画の紹介とあわせて、監督の心を捉え、映画化するに至った原作の魅力を感じていただいた。

・「安吾の捕物帖」展

開催日 令和4年9月3日～12月18日 77日間 入館者 1,148名

内容 日本独自の探偵小説として生まれた「捕物帳」。はじめて書いた「不連続殺人事件」で推理小説の評価を得た安吾が、これまでの「捕物帳」とは一線を画す形で挑んだ「明治開化 安吾捕物帖」を紹介。残された資料の中から、物語の構想や下書き、また蔵書に含まれるアガサ・クリスティなど多数の海外推理小説から、安吾の推理小説好きと従来「捕物帳」への挑戦を紹介した。

・「安吾って!? Part 5」展

開催日 令和5年1月4日～3月26日 60日間 入館者 799名

内容 「坂口安吾」全般を紹介する、いわゆる常設展的展示。

5回目のこのたびは、2022年秋に三堀家で発見された1923年3月の三堀謙二宛坂口安吾の書簡を中心に紹介。同宛て1月の書簡に続く三堀・安吾の往復書簡の一つで、新潟中学から東京・豊山中学へ転校した際の安吾の心境、身辺状況を知る貴重な資料であり、自伝的小説ではない、安吾自らの言葉で生き生きと語られている点が注目された。この資料はTVや新聞でも取りあげられ、関心を集め、来館者も多かった。ペンネーム「安吾」に至る前の「安護」の署名や、戦時中勤めた日本映画社の給料袋に記された、本名「炳五」ではない「坂口炳吾」の名前など、新資料が明らかにした坂口安吾の原点に注目が集まった。また、2月11日から3月21日まで「坂口家ゆかりの雛人形展」を和室で開催した。

(3) 共催事業 2, 293, 460 円

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支出した。

- ・第34回新潟市伝承芸能保存会 郷土芸能公演「郷芸」 (300,000)

開催日 令和4年7月17日 入場者 144人

- ・第70回新潟市芸能まつり (1,500,000)

開催日 令和4年10月2日～令和5年1月15日 入場者 8,273人

- ・第54回新潟市美術展 (350,000)

開催日 前期：令和4年10月12日～16日／後期：令和4年10月19日～23日

入場者 4,810人

(4) 表彰顕彰事業 109,328円

新潟市で開催される公募展に財団賞を交付し、底辺の拡大を図った。

- ・新潟市美術展 7部門
- ・アークベル県民アマチュア絵画展 2部門
- ・新潟県工芸会展 1部門
- ・二科新潟支部展 1部門

2 会議の開催状況

(1) 評議員会

- ① 第1回 (定時) 令和4年6月9日
 - ・令和3年度事業報告及び決算について
 - ・理事の選任について
 - ・監事の選任について
- ② 第2回 令和5年3月30日【書面】
 - ・評議員の辞任に伴う補欠選任について
 - ・理事の辞任に伴う補欠選任について

(2) 理事会

- ① 第1回 令和4年4月1日【書面】
 - ・常務理事の選定について
 - ・常勤役員の報酬等の金額について
- ② 第2回 令和4年5月25日
 - ・規則、規程の一部改正 (育児休業と介護休業等に関する規程) について
 - ・令和3年度事業報告及び決算について
 - ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
 - ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について (報告)
- ③ 第3回 令和4年6月9日【書面】
 - ・理事長、専務理事及び常務理事の選定について
 - ・事務局長の任命について
 - ・常勤役員の報酬等の金額について
- ④ 第4回 令和5年3月28日
 - ・規則、規程の一部改正 (処務規程、嘱託職員就業規則、臨時職員就業規則、育児休業と介護休業等に関する規程、給与規程) について
 - ・常勤役員の報酬等の金額について
 - ・県民会館「芸術文化事業」特定費用準備資金取扱規程の制定について

- ・令和 5 年度事業計画及び予算について
- ・第 2 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
- ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について（報告）

○ 新潟市民芸術文化会館及び新潟市音楽文化会館 1,280,580,694 円

1 文化事業 649,128,233 円

市民芸術文化会館の3つの専門ホールと音楽文化会館等諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、ジュニア世代の育成と舞台芸術の愛好者の拡大を目的とした育成普及事業を行うことで、新潟市における芸術文化の振興を図った。

また、新潟市及び全国に向け積極的に音楽・演劇・能楽・舞踊などの舞台芸術を創造発信することにより、新潟市の芸術文化活動の拠点施設としての役割を果たすとともに、シビックプライドの醸成と我が国の芸術文化の振興に努めた。

(1) 音楽事業 137,927,082 円

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広い曲目内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会、親子を対象とした音楽ファン拡大のための演奏会など、バラエティに富んだプログラムを実施した。企画内容においても硬軟取り混ぜ、市民各層のさまざまなニーズに応えるラインナップとした。

① 魅力創造事業 (65,112,510)

ー東京交響楽団シリーズー

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第125回	～ドボルザーク:チェロ協奏曲 ロ短調～	令和4年5月29日(日)
第126回	～ストラヴィンスキー:バレエ音楽「火の鳥」(1910年版)～	6月26日(日)
第127回	～マーラー:交響曲第5番 嬰ハ短調～	7月17日(日)
第128回	～シューマン:交響曲第3番 変ホ長調ニ短調「ライン」～	11月6日(日)
第129回	～ラヴェル:ボレロ～	12月4日(日)
第130回	～R・シュトラウス:「薔薇の騎士」組曲～	令和5年3月26日(日)

② 鑑賞事業 (32,112,908)

ーオーケストラシリーズー

・NDR北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団

令和4年11月16日(水)

ーピアノ・リサイタルシリーズー

・津田裕也ピアノ・リサイタル

令和4年12月22日(木)

・三浦謙司ピアノ・リサイタル

令和5年2月19日(日)

ー器楽リサイタルシリーズー

・新倉瞳・佐藤卓史 デュオ リサイタル

令和4年4月30日(土)

ーオルガン・シリーズー

・石丸由佳オルガン・リサイタル

令和4年7月2日(土)

10月8日(土)

・オルガン・クリスマスコンサート 2022

令和4年12月10日(土)

ーホール体験事業ー

- ・1 コインコンサート

Vol.118 「オルガン」	令和4年 5月 13日(金)
Vol.119 「合唱」	令和4年 6月 4日(土)
Vol.120 「ヴァイオリン」	令和4年 7月 5日(火)
Vol.121 「ピアノデュオ」	令和4年 9月 2日(金)
Vol.122 「トロンボーン」	令和4年 10月 3日(月)
Vol.123 「箏」	令和4年 12月 24日(土)

ー室内楽シリーズー

・カルテット・スピリタス (サクソフォン四重奏)	令和4年 5月 3日(火・祝)
・「三人の女神」(ピアノ三重奏)	令和4年 9月 23日(金・祝)
・ヴィジョン弦楽四重奏団	令和4年 10月 17日(月)
・「5台ピアノの世界」	令和4年 10月 22日(土)
・N響金管五重奏	令和5年 1月 22日(日)
・ヴァイオリン四重奏	令和5年 2月 12日(日)

③ 育成事業 (35,217,710)

ー市民参加事業ー

- ・にいがた東響コーラス 令和4年 9月～令和4年 12月

ージュニア等育成事業ー

・ジュニアオーケストラ教室育成事業	通年
第41回演奏会	令和4年 9月 4日(日)
クリスマス・コンサート(音楽文化会館)	令和4年 12月 25日(日)
・ジュニア合唱団育成事業	通年
第32回定期演奏会	令和4年 8月 6日(土)
クリスマス・コンサート(音楽文化会館)	令和4年 12月 17日(土)
・ジュニア邦楽合奏教室育成事業	通年
第27回定期演奏会	令和4年 7月 24日(日)
・ジュニア音楽教室第19回スプリングコンサート	令和5年 3月 25日(土)
・全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会	通年
ジュニアオーケストラ・フェスティバル in NIIGATA 2022	令和4年 8月 21日(日)
・新潟県少年少女合唱団合同演奏会	令和4年 8月 28日(日)

ーその他事業ー

・オルガン講座	通年
・りゅーとぴあ音楽アーツ・マネジメント研修事業	令和4年 8月 23日(火)～26日(金)
・It's ニイガタ Concert2023	令和5年 1月 14日(土)～15日(日)

④ 普及事業 (5,483,954)

・りゅーとぴあアウトリーチ事業	通年
・全国公立コンサートホール企画連絡会議	通年

- ・オルガン普及プログラム (サマーデイズ) 令和4年 7月 18日(月・祝)他
- ・「オーケストラはキミのともだち」 令和4年 7月 30日(土)
- ・オペラシアターこんにゃく座「森は生きている」 令和4年 11月 5日(土)

(2) 演劇事業 149,212,836 円

多様な専門機能を持つ劇場を活用し、公共や民間の劇場がプロデュースした企画及び小劇場系の演劇作品や伝統芸能など様々な公演を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の拡大を目指した。さらに専門ホールの特性を活用してりゅーとぴあ発の演劇作品を創造、全国に向けて発信。本年度はプロデュース企画として「住所まちがい」を実施した。演劇スタジオキッズコース APRICOT を通して次世代の舞台芸術を担う子どもたちの優れた人材や観客を育むとともに、ワークショップの実施により、広く演劇に携わる人材の育成と市民への普及啓発を図った。

① 魅力創造事業 (81,985,701)

- ・りゅーとぴあ発「住所まちがい」

[東京公演] (12 公演) 世田谷パブリックシアター

令和4年 9月 26日(日)～令和4年 10月 9日(日)

[新潟公演] (2 回公演) りゅーとぴあ・劇場 令和4年 11月 2日(水)～ 3日(木・祝)

以下、受託公演

[豊橋公演] (3 回公演) 穂の国とよはし芸術劇場 令和4年 10月 13日(木)～14日(金)

[兵庫公演] (3 回公演) 兵庫県芸術文化センター 令和4年 10月 22日(土)～23日(日)

[松本公演] (1 回公演) まつもと市民芸術館 令和4年 10月 29日(土)

② 鑑賞事業 (41,070,702)

- ・辻村深月 「ぼくのメジャースプーン」「かがみの孤城」(各 1 回公演)

令和4年 6月 4日(土)

- ・M&Oplays「鎌塚氏、羽を伸ばす」

令和4年 8月 24日(水)

- ・ヨーロッパ企画「あんなに優しかったゴーレム」

令和4年 10月 18日(火)

- ・パルコ・プロデュース 2022「凍える」[共催事業] (2 回公演)

令和4年 11月 26日(土)～27日(日)

- ・白石加代子「百物語」アンコール公演 第四弾

令和4年 12月 10日(土)

- ・KERA・MAP #010「しびれ雲」(2 回公演)

令和4年 12月 24日(土)～25日(日)

- ・木ノ下歌舞伎「桜姫東文章」

令和5年 2月 26日(日)

- ・PARCO 劇場開場 50 周年記念シリーズ「笑の大学」[共催事業] (4 回公演)

令和5年 3月 10日(金)～12日(日)

- ・春風亭小朝独演会

令和5年 3月 30日(木)

③ 育成事業 (10,800,479)

- ・りゅーとぴあ演劇スタジオ APRICOT

通年

- ・夏季公演 APRICOT 版「風の又三郎」

令和4年 8月 6日(土)～7日(日)

- ・春季公演「長靴をはいた猫」 & 「幸福な王子」

令和5年 3月 18日(土)～19日(日)

④ 普及事業 (15,355,954)

- ・第2回新潟劇王 [共催事業] 令和4年5月4日(水・祝)～5日(木・祝)
- ・エチュード(即興劇)で学ぶ ヨーロッパ企画の演劇ワークショップ
令和4年7月23日(土)～24日(日)
- ・NE/ST 庭劇団ペニノ「笑顔の砦」[共催事業](2回公演)
令和4年9月3日(土)～4日(日)
- ・第三十四回ふるまち新潟をどり(2回公演) 令和4年9月23日(金・祝)
- ・小野寺修二演劇ワークショップ 令和4年11月26日(土)～27日(日)
- ・シニア劇団りゅーと「愉快痛快! 瞼の母2022」[共催事業](4回公演)
令和4年12月10日(土)～11日(日)
- ・カンパニーデラシネラ「はだかの王様」(3回公演) 令和5年1月14日(土)～15日(日)
- ・小野寺修二創作ワークショップ 「甘えの構造」りゅーとぴあ ver.
令和5年2月23日(木)～26日(日)、3月3日(金)～5日(日)

(3) 能楽事業 32,843,473 円

伝統様式に則った本格的な能舞台を活用し、子どもから一般までを対象として普及に重点をおいた鑑賞公演を実施する。これに際し、訪日外国人を意識し、タブレット貸出による多言語字幕サービスを導入した。さらに能狂言に対する知識や興味を高める能楽基礎講座のほか、子どもたちを対象とした謡や狂言のワークショップ、アウトリーチなどの能楽体験ができる事業を開催することで若年層への能楽普及を図った。

① 継承事業

- ・春の能楽鑑賞会 [宝生流] 令和4年5月21日(土)
- ・秋の能楽鑑賞会 [観世流] 令和4年11月19日(土)
- ・【日本全国 能楽キャラバン! in 新潟】 「観世流特別公演～道成寺～」
令和5年1月7日(土)
- ・野村万作・萬斎狂言公演(2回公演) 令和5年2月11日(土)
- ・能楽講座「能楽師に聞く 能の楽しみ」10周年記念 リクエスト能「葵上」(喜多流)
令和5年2月23日(木・祝)
- ・能楽講座「能楽師に聞く 能の楽しみ」(年3回)
令和4年4月20日(水)・7月7日(木)・10月7日(金)
- ・おやか“能”たいけん教室 ～お能に挑戦!～ 令和4年7月10日(日)
- ・能楽堂で楽しむ十五夜 令和4年9月9日(金)
- ・お能ワークショップ 令和4年9月27日(火)
- ・能面ワークショップ 令和4年12月17日(土)
- ・「さわってみよう能の世界」 令和5年3月26日(日)

(4) 舞踊事業 137,114,546 円

全国唯一の劇場専属舞踊団である Noism Company Niigata の活動による新潟オリジナルの質の高い舞踊作品を国内外に向けて創造発信することで、舞踊芸術の振興を図った。さらにアーティストが地域に定住する特性を生かし、市内の舞踊芸術に携わる優れた人材や観客を育む

ために年間通しての Noism オープンクラス、ワークショップ及び Noism 以外の舞踊公演に取り組んだ。他都市の劇場・音楽堂等との連携・協力関係を構築することにより、全市的及び地方の拠点施設としての役割と地位を高めることに努めた。

尚、令和 4 年 9 月より「りゅーとぴあレジデンシャル制度」に基づき本事業を実施。Noism に国際活動部門、地域活動部門を新設し、それぞれに部門芸術監督を置き、活動の充実を図った。

① 魅力創造事業

ー創造発信事業ー

- ・ Noism Company Niigata カンパニー運営事業
- ・ Noism0+Noism1 Noism×鼓童「鬼」
 - [新潟公演] りゅーとぴあ・劇場 (3 回公演) 令和 4 年 7 月 1 日(金)～ 3 日(日)
 - [埼玉公演] 彩の国さいたま芸術劇場 (3 回公演) 令和 4 年 7 月 8 日(金)～10 日(日)
- 以下、受託公演
 - [京都公演] ロームシアター京都 (1 回公演) 令和 4 年 7 月 17 日(日)
 - [愛知公演] 愛知県芸術劇場 (1 回公演) 令和 4 年 7 月 23 日(土)
 - [山形公演] 荘銀タクト鶴岡 (1 回公演) 令和 4 年 7 月 30 日(土)
- ・ Noism0+Noism1 「Der Wandererーさすらい人」
 - [新潟公演] りゅーとぴあ・スタジオ B (11 回公演) 令和 5 年 1 月 20 日(金)～ 2 月 4 日(土)
 - [東京公演] 世田谷パブリックシアター (3 回公演) 令和 5 年 2 月 24 日(金)～26 日(日)
- ・ Noism2 定期公演 Vol.13 (2 回公演) 令和 4 年 5 月 21 日(土)～22 日(日)

ー地域貢献事業ー

- ・「柳都会」2 回
 - Vol.25 中村祥子×井関佐和子 令和 4 年 4 月 16 日(土)
 - Vol.26 渋谷修太×金森 穰 令和 5 年 3 月 18 日(土)
- ・ Noism オープンクラス 31 回 令和 4 年 4 月 3 日(日)～令和 5 年 3 月 26 日(日)
- ・ Noism サマースクール 9 回 令和 4 年 8 月 5 日(金)～ 7 日(日)
- ・ Noism2 舞踊アウトリーチ公演 23 回 令和 4 年 5 月 25 日(水)～11 月 25 日(金)
- ・ 冬のワークショップ週間 6 回 令和 4 年 12 月 13 日(火)～17 日(土)

ー受託事業ー

- ・新潟まつり ネオボンダンス 令和 4 年 8 月 7 日(日)
- ・アース・セレブレーション 2022 令和 4 年 8 月 20 日(土)～21 日(日)
- ・SalaD 音楽祭 (Noism0、Noism1 出演) 令和 4 年 9 月 18 日(日)
- ・ Noism 外部依頼ワークショップ 9 回 令和 4 年 5 月 5 日(木・祝)～令和 5 年 3 月 21 日(火・祝)

ー招聘鑑賞事業ー

- ・パフォーミングアーツ・セレクション in NIIGATA 令和 4 年 10 月 30 日(日)

—映像配信関係事業—

- ・映像舞踊「BOLERO2020」の公開
- ・『春の祭典』、『残影の庭』の配信

(5) 共催事業 1, 275 円

実演家団体、文化事業実施団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と地域の芸術文化活動及び振興を図った。

- ・東京都交響楽団スペシャルコンサート 令和4年4月29日(金・祝)
- ・春の音楽ウィーク(新潟市) 令和4年4月30日(土)～5月5日(木・祝)
- ・第70回新潟市芸能まつり(新潟市音楽芸能協会)
令和4年10月2日(日)～令和5年1月22日(日)
- ・小児がんチャリティー公演会&コンサート 令和4年11月23日(水・祝)
- ・徳永兄弟フラメンコギターコンサート 令和4年12月14日(水)
- ・劇場で踊ろう!ダンスキッズ大集合(新潟県女子体育連盟) 令和5年1月29日(日)
- ・反田恭平・務川慧悟2台ピアノコンサートツアー2023 令和5年2月3日(金)
- ・PARCO劇場開場50周年記念シリーズ「笑の大学」(4回公演)
令和5年3月10日(金)～12日(日)

(6) 広報営業事業(企画管理事業) 15, 942, 675 円

公演情報等をマス媒体に加え自社媒体(印刷物やインターネット)上で積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保、ホールスポンサー制度など、広報・営業活動を効果的に展開した。併せて上質な施設機能を広くアピールすることで、会館の知名度の拡大と利用促進を図った。また、顧客分析により得られたデータを使って、新規顧客や友の会会員の獲得、業務の効率化を図った。

指定管理を受託している新潟県民会館の事業も併せて広報・営業活動を効果的に展開し、市民芸術文化会館、音楽文化会館、県民会館の3館一体管理による文化ゾーンとしての魅力を高め発信した。

- ・広報営業事業
- ・演劇広報事業

(7) 調査研究諸費(企画管理事業) 797, 324 円

次年度以降の事業の企画立案、適切な振り返り(自己評価)、資金調達、円滑な施設運営等の実施を図るため、先進の事例やノウハウ等の調査、研究、習得を進め、併せて人的交流の拡大に努めた。

(8) 事業企画諸費(企画管理事業) 3, 291, 840 円

専属オルガニストを引き続き配置し、オルガン音楽の魅力を発信した。

- ・専属オルガニスト

(9) 事業管理経費(企画管理事業) 24, 231, 472 円

票券業務、託児サービス業務等を引き続き実施し、お客様の利便性の向上に努めた。併せて、全事業に共通する管理的事務経費を本予算から執行した。

(10) 事業企画部人件費 147, 765, 710 円

2 文化施設管理受託事業 **631, 452, 461 円**

(1) 市民芸術文化会館管理事業 **490, 322, 786 円**

平成 10 年 10 月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。

令和 4 年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもらえるよう管理運営を行った。

- ① コンサートホールの管理
- ② 劇場の管理
- ③ 能楽堂の管理
- ④ ギャラリーの管理
- ⑤ スタジオの管理
- ⑥ 練習室の管理

※ 令和4年度市民芸術文化会館入館者数 245, 316 人

(2) 音楽文化会館管理事業 **141, 129, 675 円**

昭和 52 年 11 月に開館した音楽文化会館は、13 の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれている。

令和 4 年度も市民芸術文化会館及び県民会館との一体的な管理を図りながら会館の管理運営を行った。

- ① ホールの管理
- ② 練習室（13 室）の管理

※ 令和4年度音楽文化会館入館者数 109, 802 人

1 文化事業 7, 689, 593 円

大規模改修に伴う1年7か月の臨時休館を終え、大小ホール、ギャラリーなどの諸施設を活用した、多様な鑑賞事業を再開するとともに、芸術の普及と県内の文化を担う人材の育成を図るための事業を実施した。また、鑑賞者の固定化が進む中で、来館者のすそ野を広げるために幅広い年齢層にアピールする事業を展開した。

文化庁補助金を獲得できた催し物では、県内の交通遺児とその家族を招待することができた。

チケット販売システムや広告媒体の市民芸術文化会館との共有を引き続き行うとともに、旅行者との協働で文化事業のチケットの旅行商品への組み込みを行うことにより、利用者の利便性の向上と事業の拡大・促進を図った。

(1) 企画展示事業

従来、貸館利用が主であったギャラリーを利用して、家族連れや若者等、幅広い年齢層に楽しんでもらえる体験型企画展で、観賞者の層を広げた。また、戦後新潟県の美術文化に長らく貢献してきた県展を振り返る意義のある展覧会を開催した。

・「POKÉMON COLORS」

令和4年4月23日(土)～5月8日(日) 16日間 鑑賞者数 33,493人

・「新潟県展を育てた審査員たち展」

令和4年8月11日(木・祝)～9月8日(木) 26日間 鑑賞者数 2,756人

・DETECTIVE CONAN the MOVIE 展

令和4年12月17日(土)～5年1月15日(日) 23日間 鑑賞者数 8,738人

(2) ミュージカル事業

大ホールを活用した、大規模で質の高いミュージカルを展開した。

・劇団四季「ロボット・イン・ザ・ガーデン」

令和4年8月13日(土) 1回公演 鑑賞者数 1,477人

・宝塚歌劇「月組全国ツアー」

令和4年11月23日(水・祝) 2回公演 鑑賞者数 3,218人

(3) 音楽鑑賞事業

クラシック音楽をより身近に感じることでできるコンサートを実施することにより、鑑賞者のすそ野を広げることができた。また、新潟県発の世界的な芸術集団である鼓童のコンサートを継続した。

・「めざましクラシックス in 新潟」

令和4年7月22日(金) 1回公演 鑑賞者数 1,582人

・中澤卓也コンサート

令和4年10月1日(土) 【中止】

・「Cinema On Strings」

令和4年10月29日(土) 1回公演 鑑賞者数 758人

・鼓童ワン・アース・ツアー 2022「ミチカケ」

令和4年11月26日(土)・27日(日) 2回公演 鑑賞者数 1,538人

(4) 舞踊事業

県内で唯一、久々の全幕もののバレエ公演を実現した。

- ・東京バレエ団「くるみ割り人形」

令和4年12月25日(日) 1回公演

鑑賞者数 1,501人

(5) 伝統芸能事業

3年ぶりの本格歌舞伎公演を実現するとともに、落語を加えることにより、県民会館で提供する伝統芸能のジャンルを広げた。

- ・特撰落語会

令和5年2月10日(金) 1回公演

鑑賞者数 1,106人

- ・市川團十郎白猿襲名披露巡業

令和5年3月18日(土) 2回公演

鑑賞者数 3,209人

(6) その他鑑賞事業

小ホールの多様な活用方法を提案できた。

- ・ワンコインイタリア映画祭

令和5年1月7日(土)～9日(月・祝) 3日間

鑑賞者数 220人

(7) 普及事業

従来の普及事業の訪問先に特別養護老人ホームを加え、ミュージックセラピーの効用を実感できた。

- ・東京バレエ団ワークショップ

令和4年8月17日(水)

- ・佐渡太鼓体験交流館「出張! たたこう館」at 新潟県民会館

令和4年5月15日(日)

- ・佐渡太鼓体験交流館「出張! たたこう館」at 西山ふるさと館

令和4年5月14日(土)

- ・佐渡太鼓体験交流館「出張! たたこう館」訪問アウトリーチ

令和4年5月13日(金)

(柏崎市立内郷小学校、特別養護老人ホーム「にしかりの里」)

- ・松竹大歌舞伎ポスター展

令和5年3月14日(火)～19日(日) 6日間

鑑賞者数 813人

- ・「奏でつづけよう!—スタインウェイピアノを弾こう」

令和5年2月11日(土・祝)

(8) 育成事業

- ・アートプロデュース講座 「SNS時代の広報を考える～明日から役立つ効果的な広報のヒントを持ち帰ろう!」

令和5年2月15日(水)

2 文化施設管理受託事業 162, 143, 975 円

県民会館管理事業

大小のホール、2つのギャラリー、4つの会議室を中心に、コンサートや演劇、美術展、会議など幅広い用途で多くの方々に利用いただいた。

耐震天井、トイレの刷新、照明の LED 化等の大規模改修を経て、これまで以上にお客様が安心かつ円滑に施設を利用していただけるように、上質なサービスの提供に努めるとともに、会館運営のさらなる効率化を図った。

- ① 大ホールの管理
- ② 小ホールの管理
- ③ ギャラリーの管理
- ④ 会議室・談話室の管理
- ⑤ 展示コーナーの管理

※ 令和4年度新潟県民会館入館者数 275,141 人

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等 147,591,751 円

1 文化事業 10,541,137 円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

(1) 展示運営更新 167,200 円

人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説を行った。また、川村修就コーナーの展示ケースの展示替えを、4月・7月・10月・1月の4回、季節や企画展にあわせて展示替えした。

(2) 企画展示事業 6,399,832 円

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行った。今年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催した。

① 「にいがたの中世」展

平安時代末から戦国時代までを対象とし、なかでも上杉謙信などの武士たちが華々しく活躍した時代を中心に、古文書や考古資料、絵画資料によって新潟の中世の歴史をひもといた。また、登場する武将の人気投票なども行った。

開催期間 令和4年4月16日～5月29日 39日間

観覧者数 3,555人（うち有料観覧者 2,555人、無料観覧者 1,000人）

② ～大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念 6館リレー展～

「大河津分水・関屋分水と新潟市」展

当館をはじめ、燕市分水良寛史料館、燕市長善館史料館、信濃川大河津資料館、長岡市立科学博物館、新潟県立歴史博物館の6館の連携によるリレー展。当館では新潟市における分水の重要性を、治水の歴史と新潟港の近代化、市街地の発展との関わりから紹介した。

開催期間 令和4年7月17日～8月28日 37日間

観覧者数 4,174人（うち有料観覧者 3,143人、無料観覧者 1,031人）

③ 第19回むかしのくらし展「ごつつお！」

小学校3・4年生のむかしのくらし学習に対応したものとして、食をテーマにした身近な食材や食事のしかた、調理器具などのうつりかわり、給食、外食、漁業や米づくりなど子どもにも関心の高い内容で、新潟の食文化を紹介した。ショップの特設コーナーも好評だった。

開催期間 令和4年9月10日～11月27日 67日間

観覧者数 10,385人（無料観覧者）

④ 「収蔵品展・新収蔵品展」

館収蔵資料を、テーマを設けて紹介する収蔵品展では、今年度は「むかしばなしの世界」をテーマに、話に登場する道具を紹介した。図書館の協力を得て、絵本コーナーも設け好評であった。また、令和4年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展では、萬代橋の

架橋に尽力した八木朋直関係資料をはじめ、今年もバラエティ豊かな市民からの寄贈資料を紹介した。

開催期間 令和4年12月10日～令和5年2月5日 44日間
観覧者数 3,060人（無料観覧）

⑤ その他

エントランスにおけるミニミニ展示なども行った。

(3) 教育普及事業 513,907円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報、ライブラリーなどを活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。

① 体験の広場事業

体験の広場では、コロナウイルス感染症禍においてハンズオン機能の一部を制限しているものの、感染禍前の事業内容に戻りつつある。こうした状況において、小学生や家族連れ・大人を対象とした各種の体験プログラムを計64回実施した。

② 博・学連携事業

小学校67校・中学校22校を受け入れ見学に際し展示解説等を行った。そのほか、学校へ出向いて行う授業を小学校6校・中学校1校、リモート授業を中学校1校で実施した。また、職場体験では中学校7校から生徒を受け入れた。新潟大学と連携して当館学芸員が講師をつとめる博物館学の寄附講義は3年ぶりの対面方式で実施した。大学生を対象とする博物館実習は、通年5名および夏休み期間集中5名を受け入れた。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的に、幅広いニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

- ・博物館講座 全10回 ・館長講座 全4回
- ・歴史講座「浜・潟・山の歴史と暮らし」全4回（新設・港町新潟以外の地域の歴史と暮らし）

④ ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助は来館者の要望があった場合に限り感染防止を徹底した上で行った。このほか企画展「むかしの暮らし展 ごっつお！」のショップ製作、収蔵品展の展示物制作、絵本の読み聞かせにご活躍いただいた。新規ボランティアの養成も例年より少ないながらも行った。登録者数120人。

(4) 施設普及事業 1,548,027円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」(3回)、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

① 地域連携事業の実施

博物館近隣の市民団体と共催で「みなと・しもまち・川まつり」(8/28)を開催した。また、春に予定していた「堀と桜のコンサート」、夏に予定していた「夕涼みコンサート」は、全体での練習ができなかったことから実施されなかった。

② クリスマスコンサートの開催

冬季の施設活用と市民サービスのため、12月18日に地元出身の音楽家・今井あいのコンサートを本館1階のエントランスホールで開催し、110名の来場があった。

③ みなとびあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員に向けて提供した。また、会員向けの企画展鑑賞会・まちあるき「内野町 新潟の治水史をたどる」(6/12)・バスツアー「出雲崎の街並みと古代遺跡」(10/22)・館長講演会「米どころ新潟の古代」(1/7)・学芸員による講座「八木朋直旧蔵の上杉家関係文書について」(2/5)を実施した。

(5) 調査研究事業 565,813 円

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究のほか、旧家やお寺、神社の依頼による資料調査を実施した。

そのほか、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、その成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要19号』にまとめた。

(6) 資料整理事業 959,256 円

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

① 保存環境管理

館収蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、IPMに則った各種の保存環境管理を行った。

② 資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録した。

(7) 自主事業「歴史発見プロジェクト」 387,102 円

新潟の歴史に親しみ、自らが歴史を発見する喜びを知ってもらうため、今年は12の企業から協賛をいただき、歴史を題材とした以下の自主事業を行った。

① 企画展

「にいがた近代建築パネル展」

歴史発見プロジェクトミニ企画展として、新潟市の近代化とともに歴史を刻んだ歴代の新潟市役所庁舎などの建物を写真で紹介した。また、昨年、惜しまれながら姿を消した旧日本石油株式会社の赤レンガ倉庫についてもあわせて紹介した。

開催期間 令和4年6月4日～6月19日 14日間

観覧者数 1,241人(無料観覧者)

「近世新潟町一地下に広がる江戸時代の町一」展

江戸時代に日本海側有数の港町として栄えた新潟町。地下深くには江戸時代の町の痕跡が広範囲にわたって残っており、「近世新潟町跡」と名付けられて調査が行われている。出土した資料や絵図などの記録をもとに、江戸時代の新潟町を解き明かす。

開催期間 令和5年2月18日～3月26日 31日間

観覧者数 2,421人(無料観覧者)

- ② 古文書解読上達講座
古文書学習の経験者を対象に上達のコツを教える全10回の古文書講座。参加登録者46名。
- ③ こども歴史クラブ
小学生を対象にクラブ員を募り、古代から近現代までの人々の暮らしに関わる全11回の体験プログラムを実施した。クラブ員24名。
- ④ 大人の体験プログラム
「食の道具と手入れ…包丁研ぎ体験」(11/13) 会場：たいけんの広場 参加者11名
- ⑤ 特別講演会
高橋一樹氏(明治大学教授)「越後平野を駆ける鎌倉武士たち」(11/12)
会場：ミュージアムシアター 参加者85名
- ⑥ 古町学
旧新潟町エリアを学びの場とし、市民参加によって歴史・文化・魅力を掘り起こす地域学として実施。
○関連企画展「にいがた近代建築パネル展」・「近世新潟町」(上記)。
○古町こども研究所
・小学生研究員による古町地区の今と昔を比べる調査(7/30・8/6)を実施。参加者6名
・中学生研究員による上古町地区の調査(5/7)、寺町・坂道の調査(10/22)を実施。参加者3名(小学生研究所卒業者の希望により中学生研究所を新設)
それぞれの成果をとりまとめ、パネルにして掲示した。
- ⑦ 外部への講師派遣
民間や公民館、その他団体主催の講座・講演会等へ、学芸員を講師として56回派遣した。

2 文化施設管理受託事業 137,050,614円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。また、今年度はホームページリニューアルもを行い、利便性の向上に努めた。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館(常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等)
- ② 旧第四銀行住吉町支店(応接室、会議室、日本間)
- ③ 屋外施設(広場、堀、園路等)

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡(石段、石積み、石庫等)

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

※ 令和4年度歴史博物館入館者数 87,097 人

1 文化事業 1,221,527 円

指定管理の受託事業者として旧小澤家住宅の設置目的に基づき、常設展示とともに企画展事業や教育普及事業などを積極的に開催し、来館者の増加に努めた。

なお、事業の開催に当たってはボランティアの皆さんからガイドを行っていただいた。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業 701,538 円

【常設展示】

旧小澤家住宅の概要と小澤家の来歴、そして「みなとまち新潟」の歴史や生活文化について、グラフィックパネルで紹介した。

【企画事業】

旧小澤家住宅の雰囲気と風合いに合わせた日本の伝統的な工芸品展などを開催した。

① 「引札」展

開催期間 令和4年4月2日(土)～5月8日(日)

明治・大正期の新潟市並びに県外の面白い図柄の引札を展示紹介した。

観覧者数 1,288名(有料 1,185名・無料 103名)

② 「端午の節句飾り」展

開催期間 令和4年4月20日(水)～5月22日(日)

小澤家に伝わる兜など、端午の節句に合わせた飾りを展示した。

観覧者数 1,326名(有料 1,200名・無料 126名)

③ 「五姓田芳柳」展

開催期間 令和4年5月14日(土)～6月12日(日)

初代五姓田芳柳が描いた肖像画を、初公開となる作品3点を含めて展示紹介した。

観覧者数 1,559名(有料 1,343名・無料 216名)

④ 「そば猪口に見るデザイナー洗練された江戸時代の人々の感性ー」展

開催期間 令和4年6月18日(土)～7月10日(日)

そば猪口に描かれたハイセンスな図柄を通じて、日本人の感性の一端を紹介した。

観覧者数 874名(有料 742名・無料 132名)

⑤ 「みんなの問題・海のごみ」展

開催期間 令和4年7月16日(土)～7月31日(日)

一般社団法人 JEAN(クリーンアップ全国事務局)との共催。

海洋ごみ問題の普及啓発のため、東日本大震災と漂着ゴミについてのパネルを展示した。

市内でビーチコーミングをしている富川氏より、新潟の浜に流れ着いた漂着物を借用し展示した。

観覧者数 456名(有料 405名・無料 51名)

- ⑥ 桜井進一氏写真展「新潟まつり」
開催期間 令和4年7月16日(土)～8月28日(日)
写真家・桜井氏が撮影した新潟まつりの写真を展示紹介し、往事の姿を回顧した。
観覧者数 1,201名(有料 1,054名・無料 147名)
- ⑦ 「面白図柄古裂(こぎれ)ーハイカラデザインの着物たちー」展
開催令和4年9月3日(土)～9月25日(日)
着物に使われた、明治から昭和初期のハイカラなデザインの古裂を展示紹介した。
観覧者数 939名(有料 783名・無料 156名)
- ⑧ 2022年新潟郵趣会ー鉄道開業150周年記念展「時代と共に生きる切手の世界ー」
開催期間 令和4年10月1日(土)～10月10日(月)
鉄道開業150周年にあわせ、珍しい切手や鉄道資料を展示紹介した。
共催：新潟郵趣会
観覧者数 418名(有料 349名・無料 69名)
- ⑨ 「新潟仏壇工芸」展・「越後生紙」展
開催期間 令和4年10月15日(土)～11月6日(日)
新潟仏壇組合の協力を得て、新潟市の伝統的工芸品である新潟仏壇と、それに係る工芸について紹介した。
また、越後生紙振興会の協力を得て、新潟県内の手漉き和紙と、それを使った作品も紹介した。
共催：新潟仏壇組合、越後生紙振興会
観覧者数 1,445名(有料 770名・無料 675名)
- ⑩ 「ふろしき イマ・ムカシ・コレカラ」展
開催期間 令和4年11月19日(土)～12月25日(日)
小澤家に伝わる古いふろしきや、現代のふろしきを展示して、ふろしきの柄の幅広さを紹介した。
協力：大嶋屋呉服店
観覧者数 1,164名(有料 1,017名・無料 147名)
- ⑪ 「カルタと双六」展
開催期間 令和5年1月7日～2月1日(水)
お正月の遊びとして楽しめるカルタと双六を展示した。
観覧者数 364名(有料 299名／無料 65名)
- ⑫ 「ひな人形とからくり人形」展
開催期間 令和5年2月18日(土)～3月21日(火・祝)
小澤家や近隣に伝わるものをはじめ、江戸時代以降のひな人形と、江戸時代のからくり人形を展示した。
共催：新潟ハイカラ文庫
観覧者数 1,310名(有料 1,162名／無料 148名)

(2) 教育普及事業 60,270円

旧小澤家住宅を通して新潟の歴史や文化に関する「学び」と「楽しみ」を提案するため、様々な催し物の開催とともに体験学習を実施した。

- ① 山野草の展示・・・5月20日（金）～5月28日（土）
旧小澤家住宅の風合いを来館者から楽しんでもらうため、通り土間にさまざまな山野草を展示した。
協力・花や木下
- ② 蛙まつり・・・6月1日（水）～6月12日（日）
6月6日の「かえるの日」と梅雨にあわせて、職員ら有志が持ち寄った蛙をモチーフにした置物、ぬいぐるみ、手拭いや絵本などを展示した。
かえるクッキーや、福祉事業所で作成した「かえるちゃん」ポーチの販売も行った。
- ③ 夏至祭・・・6月19日（日）
夏の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、夏至の日に合わせて飲食の提供や物販、唄と三味線と踊りのライブを行った。なお、和服での来館者は入館料を無料とした。
共催・BarBookBox
- ④ おやつの日・・・7月24日（日）、9月3日（土）、10月9日（日）
町のにぎわいを絶やさないことを目的に、市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。こはく会による、唄と三味線と踊りのライブも開催した。
- ⑤ 文化の日 無料公開・・・11月3日（木・祝）
文化の日にちなみ、新潟市内の文化施設とともに入館料を無料とした。
- ⑥ 旧小澤家住宅 秋の文化祭・・・11月23日（水・祝）
秋の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、飲食の提供や物販、唄と三味線と踊りのライブを行った。
- ⑦ ふろしきファッションショー「フロコレ」・・・11月27日（日）
「ふろしきイマ・ムカシ・コレカラ」展の関連企画として、幼児～中学生までの子どもたちが、それぞれで決めたテーマにそってふろしきを身にまとい、茶の間にしつらえたランウェイを歩いて思い思いの着こなしを披露した。
- ⑧ 年忘れ煎茶会・・・12月18日（日）
煎茶道東阿部流による年末の煎茶会を開催した。
- ⑨ 卯年ミニ展示・・・1月7日（土）～1月15日（日）
卯年に合わせて、うさぎの掛け軸やぬいぐるみ、本や雑貨のミニ展示を行った。
- ⑩ 市民企画フラワーアレンジメント「花で彩る」・・・1月21日（土）～1月29日（日）
通り土間にお正月に合わせたフラワーアレンジメントを展示した。
- ⑪ たねをまく朝ごはん会・量り売りマーケット・・・1月29日（日）、2月23日（木・祝）
新潟で作られた食材を使った朝ごはんを提供した。
また、新潟の農家で作った野菜や芋、味噌や米、それをつかった総菜やお菓子などを、昔の市場をイメージし、環境にも配慮した量り売りで販売した。
- ⑫ 箏と尺八の演奏会・・・2月23日（木・祝）
「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、箏と尺八で春らしい曲を演奏した。
- ⑬ ミニ展示
通り土間や茶の間に、氷コップや豆ランプ、スタンドグラスや人形などを展示した。
- ※5月に予定していた「藤見煎茶会」は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、また、12月に予定していた「お正月の苔玉作り」は荒天のため中止となった。

(4) 調査研究事業 3,300 円

みなとまち新潟に対する市民の理解を深めるため、小澤家文書や小澤家より寄贈された資料を調査した。

「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に、賛助会員として参加し、令和4年6月5日には「第45回全国町並みゼミ新潟市大会」の分科会会場となった。

(5) 収蔵資料保存管理事業 0 円

資料の仮整理・収蔵作業を行った。

2 文化施設管理受託事業 15,545,071 円

旧小澤家住宅管理事業

指定管理の受託事業者として新潟市文化財旧小澤家住宅の適正な維持管理運営を行い、来館者および利用者へのサービスの向上に努めた。

※ 令和4年度旧小澤家住宅入館者数 13,400 人

1 付帯事業 18, 648, 114 円

(1) 市民芸術文化会館付帯事業 16, 154, 574 円

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努めた。

① 友の会の運営

※令和3年度に引き続き会員サービス拡充、会員数増を目的に会員限定コンサートを行った。

- ・外村 理紗 ヴァイオリン・リサイタル 令和4年6月18日(土)
- ・山縣 美季 ピアノ・リサイタル 令和4年8月26日(金)
- ・横坂 源 無伴奏チェロ・リサイタル 令和5年1月28日(土)

② ショップの運営

③ 飲食サービスの実施

④ 貸館公演チケットの受託販売

⑤ バックステージツアーの実施

(2) 音楽文化会館付帯事業 1, 451, 862 円

来館者に対するサービスを充実するとともに、館の認知度を高めるため、施設に触れる機会の提供に努めた。

① 自動販売機等の設置

② 貸館公演チケットの受託販売

③ 市民参加型企画の実施

(3) 新潟県民会館付帯事業 18, 804 円

来館者へのサービスをより充実させるため、鑑賞用グッズの販売や県民会館及び他館で開催される催し物チケットの受託販売、各種自動販売機の設置などを実施した。

① 県民会館貸館及び県内他館で開催されるチケットの受託販売

② 自動販売機の設置

③ その他サービス事業の実施

(4) 歴史博物館付帯事業 969, 243 円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行った。

① 物販等ショップの運営

② 自動販売機の設置

③ 企画展関連物販

「ごつつお！」展にあわせて、近隣の食品等を扱う店舗等にご協力いただき、特選コーナー、本日のおすすめコーナー、なんかやコーナーとして販売した。

【協力店舗】・田中屋本店 ・はり糸 ・念吉 ・越後せんべい浜島
 ・明治屋ゆかり店 ・新潟加島屋 ・青山トイ

(5) 旧小澤家住宅付帯事業 53,631 円

旧小澤家住宅では、新潟漆器、ふろしき、書籍などを委託で販売し、季節に合わせてこまめに商品の入れ替えを行っている。

当館はオリジナル商品として、箸置き、手ぬぐい、トートバッグ、Tシャツ、マグカップなどの開発・販売にも力を入れている。

2 施設貸与事業 212,487,445 円

来館者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出を行った。

- | | |
|------------|--------------|
| ① 市民芸術文化会館 | (75,216,759) |
| ② 音楽文化会館 | (1,569,693) |
| ③ 県民会館 | (41,298,904) |
| ④ 歴史博物館 | (77,426,091) |
| ⑤ 旧小澤家住宅 | (16,975,998) |

令和5年度事業計画

当財団は、新潟市民の芸術文化及び歴史文化の振興を図り、もって、自主的自発的な市民文化の創造に寄与することを目的とする公益財団法人として、新潟市において感動し驚きに出会い、そして共に生きる絆を創る人々の文化的プラットフォームの構築に寄与し続けるための事業展開に努めます。

令和5年度も新型コロナウイルスの影響により、文化芸術活動は様々な制限を受けていますが、文化・芸術の灯を守り、次代へと受け繋いでいくため、感染防止対策を最大限に行いながら事業を実施します。

また、新潟市民芸術文化会館は開館25周年という節目の年にあたり、これを記念して、開館25周年事業を開催します。

財団運営では、コロナ禍において新潟市の財政が厳しい状況にある中、事業の効率化に努め、経費の圧縮と節約を常に意識しながら取り組みを進めます。

公1 事務局事業	51,223 千円
-----------------	------------------

文化事業 **51,223 千円**

平成28年9月に設立した「アーツカウンシル新潟」の運営を通じ、市民の自主的な文化芸術活動を支援するほか、新潟市の文化的な環境の充実、各分野の文化活動の活性化を目的とした事業を実施する。また、新潟市の文化政策の推進を総合的に支援する。

(1) 「アーツカウンシル新潟」の運営 **38,564 千円**

新潟市民の文化芸術活動の活性化を図るとともに、持続的な文化創造交流都市の推進体制を構築することを目的に、改訂が予定されている次期『新潟市文化創造交流都市ビジョン』との整合性をとりながら、体制等の整備を進める。

また、文化芸術基本法に定められた、地域の歴史、風土等を反映した特色ある文化芸術の発展及び観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策との有機的な連携に取り組む。

<文化芸術活動の支援>

事業実施、助成等の資金調達、情報発信及び広報等、文化芸術活動全般に関する市民団体等の相談を受け付け、助言、マッチング等の支援を行う。また、市民の文化芸術活動の活性化と、持続・自律化に向けて、国や民間財団等が実施する助成制度を活用した支援を行う。

そのため、これまでの助成金制度を見直し、昨年度に引き続き実施する「テーマ別プロジェクト助成」（助成上限額：50万円）に加えて、市民の新しい取り組みに対する支援「新プロジェクトへのチャレンジ助成」（助成上限額：10万円）及び文化芸術団体の運営等に対する支援「団体助成」（助成上限額：20万円）を設け、実施する。

いずれも助成回数は3回を限度とし、初年度が3分の2以内、2年目が2分の1以内、3年目が3分の1以内とする。

<調査・研究>

市内現況調査及び国内の先進事例調査等、文化芸術活動に関する相談受付、新潟市の文化施策の企画・立案に必要な調査・研究を行う。

<情報発信>

市内の文化芸術活動を効果的に発信するため、SNS やホームページを活用、適宜更新し、支援情報等、効果的な情報発信を行う。また、アーツカウンシル新潟の PR と、市民文化芸術活動団体の掘り起しや交流によるネットワーク形成等を目的に、有識者等、ゲストを交えた交流企画「語りの場」を概ね 4 回程度開催する。

あわせて、独立行政法人日本芸術文化振興会による「アーツカウンシルネットワーク」の事務局業務を受託、全国的な地域アーツカウンシルのネットワークの形成を支援する。(受託金額 3,112,665 円。)

<企画・立案>

市の文化政策として行う事業に対して、専門的な見地から助言や提言を行う。また、令和 4 年度に引き続き、次期『新潟市文化創造交流都市ビジョン』改訂（計画期間：令和 6 年度～13 年度）に対しても、必要に応じて専門的な見地から助言や提言を行う。

(2) 坂口安吾顕彰事業 10,170 千円

新潟市が管理する安吾 風の館での資料展示を行うほか、「坂口安吾デジタルミュージアム (HP)」の充実、安吾顕彰団体と連携を図っての生誕祭の実施により安吾の普及啓発に努める。また、引き続き関連資料の調査研究を行う。

(3) 共催事業 2,367 千円

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支出する。

- ・ 第 71 回新潟市芸能まつり
- ・ 第 55 回新潟市美術展
- ・ 第 35 回新潟市郷土芸能公演

(4) 表彰顕彰事業 122 千円

新潟市美術展などの新潟市で開催される公募展に財団賞を交付する。

○ 新潟市民芸術文化会館及び新潟市音楽文化会館

1,248,203千円

1 文化事業 504,189千円

市民芸術文化会館の3つの専門ホールと音楽文化会館等諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、ジュニア世代の育成と舞台芸術の愛好者の拡大を目的とした育成普及事業を行うことで、新潟市における芸術文化の振興を図る。

また、新潟市及び全国に向け積極的に音楽・演劇・能楽・舞踊などの舞台芸術を創造発信することにより、新潟市の芸術文化活動の拠点施設としての役割を果たすとともに、シビックプライドの醸成と我が国の芸術文化の振興に努める。

(1) 音楽事業 164,450千円

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広い曲目内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会、親子を対象とした音楽ファン拡大のための演奏会など、バラエティに富んだプログラム内容を実施する。12月の「にいがたジルベスターコンサート2023」では東京交響楽団、専属オルガニスト 石丸由佳、Noismの演奏出演を予定しており、開館25周年事業に相応しい事業を目指す。このほかの企画内容においても硬軟取り混ぜ、市民各層のさまざまなニーズに応えるラインナップとした。

① 魅力創造事業 (75,758)

ー東京交響楽団シリーズ

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第131回	～エルガー:チェロ協奏曲 ホ短調 作品85～	令和5年6月4日(日)
第132回	～メンデルスゾーン:交響曲第2番 変ロ長調 作品52「讃歌」～	8月20日(日)
第133回	～R.シュトラウス:交響詩「英雄の生涯」作品40～	9月24日(日)
第134回	～ベートーヴェン:交響曲第6番 へ長調 作品68「田園」～	11月12日(日)
第135回	～チャイコフスキー3大バレエ選集～	12月3日(日)

・東京交響楽団特別演奏会

にいがたジルベスターコンサート2023 [開館25周年事業]

令和5年12月31日(日)

② 鑑賞事業 (47,060)

ーオーケストラシリーズ

・読売日本交響楽団 [開館25周年事業]

令和5年10月9日(月・祝)

・チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 [開館25周年事業]

令和5年10月30日(月)

ーピアノ・リサイタルシリーズ

・谷昂登

令和5年5月13日(土)

・小林愛実

令和5年11月23日(木・祝)

ー室内楽シリーズー	
・藤木大地&みなとみらいクインテット	令和5年5月3日(水・祝)
・アークブラス	令和5年9月3日(日)
・ジュリアード弦楽四重奏団[開館25周年事業]	令和5年10月17日(火)
ーオルガン・シリーズー	
・石丸由佳オルガン・リサイタル	令和5年9月30日(土)
	令和6年3月16日(土)
・オルガン・クリスマス 2023	令和5年12月16日(土)
ーホール体験事業ー	
・1コインコンサート	
Vol.124「チューバ」	令和5年5月19日(金)
Vol.125「フルート」	令和5年6月24日(土)
Vol.126「チェロ」	令和5年7月20日(木)
Vol.127「オルガン」	令和5年9月8日(金)
Vol.128「ピアノ」	令和5年10月4日(水)
Vol.129「弦楽四重奏」	令和5年11月28日(火)

③ 育成事業 (34,794)

ー市民参加事業ー	
・にいがた東響コーラス	令和5年4月～令和5年8月
ージュニア等育成事業ー	
・ジュニアオーケストラ教室育成事業	通年
第42回演奏会	令和5年8月27日(日)
クリスマス・コンサート(音楽文化会館)	令和5年12月24日(日)
・ジュニア合唱団育成事業	通年
第33回定期演奏会	令和5年7月16日(日)
クリスマス・コンサート(音楽文化会館)	令和5年12月23日(土)
・ジュニア邦楽合奏教室育成事業	通年
第28回定期演奏会	令和5年7月23日(日)
・ジュニア音楽教室第20回スプリングコンサート	令和6年3月31日(日)
・全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会	通年
・新潟県少年少女合唱団合同演奏会	令和5年8月予定
・にいがたジュニアコーラスフェスティバル	令和6年2月12日(月・祝)
ーオルガンほか事業ー	
・オルガン講座(通年・短期)	通年
・りゅーとぴあ音楽アーツ・マネジメント研修事業	令和5年8月8日(火)～11日(金・祝)
・It's ニイガタ コンサート	令和6年1月20日(土)～21日(日)

④ 普及事業 (6,838)

・りゅーとぴあアウトリーチ事業[音楽]	
第5期登録アーティスト ジョイントコンサート(会場:未定)	令和6年3月8日(金)

- ・全国公立コンサートホール企画連絡会議 通年
- ・オルガン普及プログラム（ファミリーコンサート） 令和5年5月7日(日)
（サマーデイズ）
- 令和5年7月17日(月・祝)～18日(火)
- ・「オーケストラはキミのともだち」（実行委員会） 令和5年7月29日(土)
- ・東京交響楽団学校訪問 令和5年6月予定
- ・オペラシアターこんにゃく座 オペラ「タング～まほうをかけられた舌」
令和5年10月予定

(2) 演劇事業 139,117千円

多様な専門機能を持つ劇場を活用し、公共や民間の劇場がプロデュースした企画及び小劇場系の演劇作品や伝統芸能など様々な公演を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の拡大を目指す。本年度より魅力創造事業として「ともに考えるプロジェクト」を実施、アーティストとの連携によりワークショップや講座などを開催、アーティストと地域を結ぶ事業とする。また、演劇スタジオ APRICOT では次世代の舞台芸術を担う子どもたちの優れた人材や観客を育むとともに、ワークショップの実施により、広く演劇に携わる人材の育成と市民への普及啓発を図る。

① 魅力創造事業 (4,173)

- ・ともに考えるプロジェクト
- 小野寺修二作品 市内小学校公演 [りゅーとびあアウトリーチ事業] 令和5年5月予定
- 小野寺修二 演劇創作ワークショップ 未定
- JACROW連携企画 (レクチャー或いはワークショップ) 未定

② 鑑賞事業 (85,135)

- ・寄席普及公演 in りゅーとびあ 令和5年6月13日(火)
- ・M&Oplays「カモメよ、そこから銀座は見えるか？」 令和5年7月9日(日)
- ・ケムリ研究室 新作公演 令和5年11月4日(土)～5日(日)
- ・「海をゆく者」 令和6年1月7日(日)
- ・JACROW「闇の将軍」三部作 令和6年1月20日(土)～21日(日)
- ・二兎社公演「パートタイマー・秋子」 令和6年2月14日(水)
- ・水都寄席「春風亭小朝独演会」 令和6年3月2日(土)

③ 育成事業 (16,422)

- ・りゅーとびあ演劇スタジオ APRICOT 通年
- 2023 夏季公演「雪の女王」 令和5年8月5日(土)～6日(日)
- 2024 春季公演「(未定)」 令和6年3月予定

④ 普及事業 (33,387)

- ・第3回新潟劇王【共催事業】 令和5年5月6日(土)～7日(日)
- ・たいらじょう人形劇ミュージカル「オズの魔法使い」[開館25周年事業]
令和5年7月15日(土)

- ・子どもと舞台芸術大博覧会〔開館 25 周年事業〕 令和 5 年 8 月 17 日(木)～20 日(日)
- ・ミュージカル「ピーター・パン」〔開館 25 周年事業〕 令和 5 年 8 月 26 日(土)～27 日(日)
- ・第三十五回ふるまち新潟をどり 令和 5 年 9 月 23 日(土・祝)
- ・シニア劇団りゅーと公演【共催事業】 令和 5 年 9 月 9 日(土)～10 日(日)

(3) 能楽事業 27, 088 千円

伝統様式に則った本格的な能舞台を活用し、子どもから一般までを対象として普及に重点をおいた鑑賞公演を実施する。これに際し、訪日外国人を意識した多言語パンフレットも作成する。さらに能狂言に対する知識や興味を高める能楽基礎講座。子供たちを対象とした囃子、囃子と狂言のワークショップやアウトリーチなどの能楽体験ができる事業を開催することで若年層への能楽普及を図る。能楽では開館以来開催している「秋の能楽鑑賞会」「野村万作萬斎狂言公演」を周年事業として実施する。

① 継承事業

- ・茂山狂言公演 令和 5 年 5 月 13 日(土)
- ・春の能楽鑑賞会〔観世流〕 令和 5 年 6 月 25 日(日)
- ・秋の能楽鑑賞会〔宝生流〕〔開館 25 周年事業〕 令和 5 年 10 月 29 日(日)
- ・野村万作萬斎狂言公演〔開館 25 周年事業〕 令和 5 年 12 月 9 日(日)
- ・「能楽堂で楽しむ節分」 令和 6 年 2 月 3 日(土)
- ・能楽講座「能楽師に聞く 能の楽しみ」(年 3 回) 令和 5 年 5 月 31 日(水)
9 月 30 日(土)
令和 6 年 2 月 23 日(金・祝)
- ・「さわってみよう能の世界」 令和 5 年 12 月 2 日(土)
- ・謡アウトリーチ〔りゅーとびあアウトリーチ事業〕 令和 5 年 6 月 8 日(木)～9 日(金)
- ・狂言ワークショップ&アウトリーチ〔りゅーとびあアウトリーチ事業〕 未定
- ・おやこ能たいけん教室 令和 5 年 7 月 22 日(土)
- ・おとな能楽講座 未定

(4) 舞踊事業 114, 058 千円

全国唯一の劇場専属舞踊団である Noism Company Niigata の活動による新潟オリジナルの質の高い舞踊作品を国内外に向けて創造発信することで、舞踊芸術の振興を図る。さらにアーティストが地域に定住する特性を生かし、市内の舞踊芸術に携わる優れた人材や観客を育むために年間通しての Noism オープンクラス、ワークショップ及び Noism 以外の舞踊公演に取り組む。他都市の劇場・音楽堂等との連携・協力関係を構築することにより、全市的及び地方の拠点施設としての役割と地位を高めていく。

「りゅーとびあレジデンシャル制度」に基づく 2 年目を迎える活動を引き続き実施していく。

① 魅力創造事業

—創造発信事業—

- ・Noism Company Niigata カンパニー運営事業
- ・Noism0/Noism1 金森穰×二見一幸 新作ダブルビル「領域-Field」

[新潟公演] りゅーとぴあ・劇場 (3 回公演) 令和 5 年 6 月 30 日(金)～7 月 2 日(日)
 [東京公演] めぐろパーシモンホール・大ホール (3 回公演)
 令和 5 年 7 月 14 日(金)～16 日(日)

- ・ Noism0/Noism1 Noism×鼓童「鬼」(再演)
 [新潟公演] りゅーとぴあ・劇場 (3 回公演) 令和 5 年 12 月 15 日(金)～17 日(日)
 [神奈川公演] KAAT 神奈川芸術劇場 (2 回公演) 令和 6 年 1 月 13 日(土)～14 日(日)
 [岡山公演] 岡山芸術創造劇場ハレノワ (1 回公演) 令和 6 年 1 月 20 日(土)
- ・ Noism2 定期公演 Vol.14+Noism1 メンバー振付公演 2023 (2 回公演)
 令和 5 年 4 月 22 日(土)～23 日(日)

ー地域貢献事業ー

- ・「柳都会」 年 2 回 未定
- ・市民のための Noism オープンクラス 通年
- ・Noism サマースクール 令和 5 年 8 月 11 日(金)～13 日(日)
- ・Noism2 舞踊アウトリーチ公演 [りゅーとぴあアウトリーチ事業] 令和 5 年 6 月中旬
 10 月下旬～11 月上旬

ー受託事業ー

- ・黒部シアター2023 春 令和 5 年 5 月 20 日(土)～21 日(日)
- ・SalaD 音楽祭 令和 5 年 8 月 6 日(日)
- ・日本バレエ協会「全国合同バレエのタベ」 令和 5 年 8 月 11 日(金・祝)
- ・アースセレブレーション 2023 令和 5 年 8 月 18 日(金)～20 日(日)

ー招聘鑑賞事業ー

- ・舞踊企画招聘公演 未定

(5) 共催事業 6 千円

実演家団体、文化事業実施団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と地域の芸術文化活動及び振興を図る。また、このタイアップ共催により新潟市における全国的規模の事業を開催する。

- ・第 71 回新潟市芸能まつり (新潟市音楽芸能協会)
 令和 5 年 10 月 1 日(日)～令和 6 年 1 月 28 日(日)
- ・劇場で踊ろう! ダンスキッズ大集合(新潟県女子体育連盟) 令和 5 年 12 月 24 日(日)予定

(6) 広報営業事業(企画管理事業) 18,189 千円

公演情報等をマス媒体に加え自社媒体(印刷物やホームページ)上や SNS で積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保、ホールスポンサー制度など、広報・営業活動を効果的に展開していく。併せて上質な施設機能を広くアピールすることで、会館の知名度の拡大と利用促進を図る。また、顧客分析を実施し、新規顧客や友の会会員の獲得、業務の効率化を図っていく。

指定管理を受託している新潟県民会館の事業も自社媒体等で効果的に展開し、市民芸術文化会館、音楽文化会館、県民会館の 3 館一体管理による文化ゾーンとしての魅力を高め発信していく。

- ・広報営業事業
- ・演劇広報事業

(7) 調査研究諸費(企画管理事業) 942 千円
次年度以降の事業の企画立案、適切な振り返り（自己評価）、資金調達、マーケティング、デジタルトランスフォーメーション、円滑な施設運営等の実施を図るため、先進の事例やノウハウ等の調査、研究、習得を進め、併せて人的交流の拡大に努める。

(8) 事業企画諸費(企画管理事業) 5,674 千円
演劇事業に提携芸術家を配置し、本予算から執行する。また、専属オルガニストを引き続き配置し、オルガン音楽の魅力を発信する。
・提携芸術家（アソシエイト・アーティスト）等 ・専属オルガニスト

(9) 事業管理経費(企画管理事業) 34,665 千円
票券業務、託児サービス業務等を引き続き実施し、お客様の利便性の向上に努める。併せて、全事業に共通する管理的事務経費を本予算から執行する。

2 文化施設管理受託事業 595,454 千円

(1) 市民芸術文化会館管理事業 463,584 千円

平成 10 年 10 月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。

令和 5 年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもらえるよう管理運営を行う。

- ① コンサートホールの管理
- ② 劇場の管理
- ③ 能楽堂の管理
- ④ ギャラリーの管理
- ⑤ スタジオの管理
- ⑥ 練習室の管理

(2) 音楽文化会館管理事業 131,870 千円

昭和 52 年 11 月に開館した音楽文化会館は、13 の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれている。

令和 5 年度も市民芸術文化会館及び県民会館との連携を図りながら、引き続き多くの市民に利用される施設を目指して管理運営を行う。

- ① ホールの管理
- ② 練習室（13 室）の管理

1 文化事業 3,049 千円

県民会館の舞台機能等を活かした大型舞台芸術の公演や、2つのギャラリーを使用した幅広い年代を対象とする多彩な事業を展開することにより、鑑賞者のすそ野を広げていく。

また、引き続き県内全域での芸術文化の普及事業、さらには県内公共文化施設の活性化に向けた事業などを展開する。

- ・ tupera tupera のかおてん. 令和5年4月1日(土)
~5月7日(日)
- ・ ミュージカル「DADDY」 令和5年4月22日(土)
- ・ 夏井いつき句会ライブ 令和5年4月29日(土・祝)
- ・ ミュージカル『アニー』 令和5年8月27日(日)
- ・ 日生劇場 音楽劇『精霊の守り人』 令和5年9月3日(日)
- ・ ディズニー・オン・クラシック 令和5年9月23日(土・祝)
- ・ 鼓童 令和5年10月22日(日)
- ・ 劇団四季『クレイジー・フォー・ユー』 令和5年11月17日(金)・18日(土)
- ・ 宝塚歌劇団 令和5年11月23日(木・祝)
- ・ 西川悟平インクルーシブコンサート 令和5年12月9日(土)
- ・ アートプロデュース講座 令和6年2月(予定)
- ・ 出張! たたこう館 訪問アウトリーチ(南魚沼) 令和6年3月1日(金)
- ・ 出張! たたこう館(南魚沼) 令和6年3月2日(土)
- ・ 出張! たたこう館 令和6年3月3日(日)
- ・ 奏でつづけよう! 未定

2 文化施設管理受託事業 160,014 千円

県民会館管理事業

県民会館は、県民生活の向上と、教育、文化の発展に寄与するという目的のもとに設置された施設であることから、この設置意義を十分認識し、新潟県内における文化振興の拠点施設として適切に機能するよう管理運営に取り組む。また、新潟市民芸術文化会館及び新潟市音楽文化会館との連携により、より効率的な管理運営を図る。

- ① 大ホールの管理
- ② 小ホールの管理
- ③ ギャラリーの管理
- ④ その他施設(会議室・談話室、展示コーナー、情報ラウンジ等)の管理

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等 147,594 千円

1 文化事業 12,487 千円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため以下の各種事業を行う。

(1) 展示運営更新 0 千円

常設展示室の部分展示替え等により情報内容を更新する。

(2) 企画展示事業 6,493 千円

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行う。次年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催する。

① 「長井雲坪 沼垂の画家うんぺいさんの里帰り」展

開催期間 令和5年4月8日～5月28日 44日間

幕末から明治にかけて活躍した沼垂出身の画家、長井雲坪は長崎で画を学び、一時新潟へ帰郷したが、おもに長野を拠点とした。長野で大切にされてきた一大コレクションを紹介する。

② 「川村修就と新潟」展

開催期間 令和5年7月22日～9月3日 39日間

江戸時代末、天保14年に新潟町は幕府の領地となり、その管理のため「新潟奉行」が新たに設置された。初代新潟奉行となった川村修就の子孫が新潟市へ寄付した貴重な史料から新潟奉行設置の経緯や激動の時代を生きた川村家の歴史を伝える。

③ 第20回むかしのくらし展「どうぐのどうぶつえん！」

開催期間 令和5年9月16日～12月3日 65日間

くらしの中で使われる道具には、動物の名前や姿かたちからヒントを得たものが数多く存在する。身近な道具やできごとから、動物と私たちのくらしとの関りについて考える。

④ 収蔵品展・新収蔵品展

開催期間 令和5年12月16日～令和6年1月28日 32日間

館収蔵資料をテーマを設けて紹介する収蔵品展と、令和5年度に新たに受け入れる資料を紹介する新収蔵品展を開催する。

⑤ その他

次年度に開催予定の企画展の準備を行う。(印刷物の作成等)

※上記指定管理事業のほか、自主事業による企画展を開催する。

(3) 教育普及事業 577 千円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学

校等の教育活動を提案したりするとともに、レファレンス用開架図書を追加する。

① 体験の広場事業

小学生や家族連れを主な対象として、「つかう」、「しらべる」、「つくる」という機能を持つ、3つの広場「昔のくらしに触れる場」、「情報学習の場」、「創作活動の場」での体験プログラムを、土・日・祝日を中心に年50回程度開催する。

また、夏休み向けの体験や大人を対象とした体験プログラムなど、対象を設定した体験プログラムも織り交ぜて行う。

② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等の対応を行うとともに、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講義や大学生の実習受入れを行う。学校のニーズに応じて出前授業にも対応する。また博物館ホームページに新しいコンテンツ制作を予定。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案するため、幅広い年齢層や個別のニーズに対応する以下の各種講座を開催する。

- ・博物館講座 年10回（1月、3月を除く各月の第4日曜日）
- ・館長講座 全4回（3月に開催予定）
- ・歴史講座「浜・潟・山の歴史とくらし」 全4回（開催日調整中）

④ ボランティア事業

常設展示解説、敷地解説、体験の広場プログラムでのボランティア活動を支援するとともに、館の顔としてスキルアップを図る。またボランティア活動への新規希望者に向けた研修を行う。

※上記指定管理事業のほか、自主事業による教育普及事業を実施する。

(4) 施設普及事業 1,838 千円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図る。

① 地域連携

地元市民団体と共催し、博物館を会場に野外コンサートや夏祭りなどのイベントを開催する。

② みなとびあファンクラブ

「みなとびあファンクラブ」会員を対象とした事業を行う。講演会や企画展鑑賞会、史跡探訪ツアーや新潟市内の街歩きなどを開催する。

(5) 調査研究事業 740 千円

市民の関心を引き起こすテーマの探求や博物館活動の発展のために、調査研究活動を行う。当館の基本テーマである「湊と湊町」「低湿地のくらし」に合わせた調査・研究を基本とし、そのほか学芸員が各自のテーマで調査・研究を実施する。そうした成果を博物館講座等で市民に報告するとともに、研究紀要として刊行する。

(6) 資料整理事業 775 千円

寄贈や購入などにより受け入れた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行う。

① 保存環境管理

歴史資料を長期保存するための資料保全・環境整備。

新規収集資料の燻蒸・殺虫処置や、博物館収蔵庫・石庫・新潟市文化財センター・旧木場小学校等に所蔵する資料を、よりよい状況で保存するための IPM をはじめとする資料保存環境の管理に努める。

② 資料収集整理

地域の歴史資料を収集するとともに、資料を保存管理するための基礎的データや資料活用するための資料情報を調査・記録し、データベース化する整理作業を行う。併せて、資料の保存のためのクリーニング・養生などの処置を行う。

(7) 自主事業「みなとぴあ歴史発見プロジェクト」 2,064 千円

令和3年度から再スタートした自主事業で、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、新潟の街をみんなで盛り上げていこうというもの。事業実施に当たり、地域の企業・団体から協賛金をいただくなど自主財源を確保し、以下の事業を行う。

① 企画展

「1964」展

開催期間 令和6年2月17日～3月24日 30日間

世界最速の新幹線が走り出し、アジア初のオリンピックが東京で開催された1964(昭和39)年、新潟では国体が開催され、大地震が発生。昭和史に残る出来事が続いた1964年を振り返る。

② 古文書解説上達講座

古文書学習の経験者を対象にした古文書の上達講座。

毎月第3水曜日(8月のみ第4水曜日)に実施予定 全10回 定員60人

③ みなとぴあこども歴史クラブ

小学生を対象に、古代から現代にいたる人々の暮らしの一端を体験用にプログラム化し、体験を通じて歴史を身近に感じ、かつての暮らしの知恵や文化財保護を考えるきっかけとする。

毎月第3日曜日に実施 全11回 20人程度募集

④ 大人の体験プログラム

大人が楽しめる歴史・文化にかかわる体験イベントを企画・実施する。

⑤ 特別講演会

新潟市の枠を超えた歴史をテーマとする講演会を企画・開催する。

⑥ 古町学

旧新潟町エリアを学びの場とし、市民参加によって歴史・文化・魅力を掘り起こす地域学として継続実施する。

2 文化施設管理受託事業 135, 107 千円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等に加え、信濃川左岸緑地の管理運営を行う。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）
- ② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
- ③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡（石段、石積み、石庫等）

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

1 文化事業 1,291 千円

指定管理の受託事業者として、小澤家住宅の設置目的に基づき以下の各種事業を行う。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業 246 千円

【常設展示】

みなとまち新潟の歴史・生活文化並びに旧小澤家住宅や小澤家の概要について、グラフィックパネル等で紹介する。

【企画展示】

① 「新潟歴史玉手箱」展

開催期間 令和5年4月1日(土)～5月7日(日)

市内の街中で何気なく目にする胸像や石碑・記念碑等、見過ごされている事物・事象を取り上げ、顕彰来歴をはじめ埋もれかけている歴史的内容を掘り起こし紹介する。防火水槽・越路焼といった事物をはじめ楠本正隆からドカベンのキャラクター銅像など対象を幅広く扱う。

協力：新潟ハイカラ文庫

② 「老舗料亭 行形亭の器」展

開催期間 令和5年5月20日(土)～6月25日(日)

新潟の食・もてなしの文化を支え伝えてきた料亭の老舗「行形亭」で使われた器を展示紹介する。行形亭の御膳・食器や先代亭主の和也氏が買い揃えた器を展示紹介する。

共催：行形亭・新潟ハイカラ文庫

③ 桜井進一氏写真展「古町通り・七夕まつり」展

開催期間 令和5年7月5日(水)～8月27日(日)

桜井進一氏が撮影した七夕まつりと当該時期の古町通りの写真を展示紹介し、往事の姿を回顧する。

④ 「みんなの問題 海のごみ」展

開催期間 令和5年7月15日(土)～7月30日(日)

一般社団法人J E A N所蔵の海ごみ問題啓発に関する写真パネルを展示する。

協力：一般社団法人J E A N

⑤ 「生誕140年 安宅安五郎」展

開催期間 令和5年9月9日(土)～9月24日(日)

新潟市に生まれ、帝展審査員にも任命された安宅安五郎の生誕140年を記念して、絵画並びに資料を展示してその足跡を紹介する。

- ⑥ 新潟郵趣会展「絵葉書と年賀状一時代と共に生きる切手の世界」展
 開催期間 令和5年9月30日(土)～10月9日(月)
 明治期以降の切手や絵葉書、年賀状を通じて、当時流行したデザインなど郵趣の魅力の一端を紹介する。
 共催：新潟郵趣会
- ⑦「新潟仏壇工芸」展
 開催期間 令和5年10月14日(土)～11月5日(日)
 当市の伝統的工芸品の一つ「新潟・白根仏壇」から「新潟仏壇」を展示する。また、仏壇製作の技法を用いた仏壇以外の製作物の展示と、職人の紹介も行う。
 共催：新潟仏壇組合、新潟市
- ⑧「伊勢型紙の世界」展
 開催期間 令和5年11月18日(土)～令和6年1月21日(日)
 日本の染色技術の一つ「型染」で用いられる「型紙」に焦点をあて、型紙職人による手仕事の繊細で高い技術力をはじめ、多様な文様をもつ型紙の魅力を紹介する。
 共催：新潟ハイカラ文庫
- ⑨「ひな人形とからくり人形」展
 開催期間 令和6年2月17日(土)～3月24日(日)
 上巳にあわせ、当館及び市内で使用された雛人形を展示する。また、新潟ハイカラ文庫所蔵の古式雛や動く人形としてのからくり人形も展示紹介する。
 共催：新潟ハイカラ文庫

(2) 教育普及事業 355 千円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりする。

① 体験学習事業

- ・企画展の内容に即した体験学習
 仏壇工芸体験（「新潟仏壇工芸」展中）
 からくり人形実演（「ひな人形とからくり人形」展中）
 稲わらでつくるひな人形（「ひな人形とからくり人形」展中）
- ・ふろしき講座
- ・新潟甚句、佐渡おけさ講習会
- ・クリスマスと早春のフラワーアレンジメント
- ・稲穂でつくる正月飾り
- ・フラワーアレンジメントワンディレクソン

② 講座・講習・講演会事業

- ・古文書講座 全2回（春1回、秋1回）
- ・庭園講座 全2回（春1回、秋1回）

(3) 施設普及事業 469 千円

旧小澤家住宅の活動を広く市民に知ってもらうため、広報用の印刷物を作成したり、SNSに

よる情報発信をしたり、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行ったりする。

また、季節に合わせたしつらいや、イベントの開催などにより、来館の動機付けを行う。

① 芸術文化活動の開催

・市民企画フラワーアレンジメント 花で彩る 令和6年3月中

② 季節に合わせたしつらい

・山野草の展示

③ 季節に合わせたイベントの開催

・藤見煎茶会、年忘れ煎茶会

・夏至祭 令和5年6月18日(日)

・秋の大文化祭 令和5年11月23日(木・祝)

④ 食・音楽・季節をテーマにしたイベントの開催

(4) 調査研究事業 31 千円

市民が注目し、深く関心のあるテーマの探求や本施設における活動の発展のために、調査研究活動を行う。

「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に賛助会員として参加する。

(5) 収蔵資料の保存管理事業 170 千円

旧小澤家より寄贈を受けた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用する。新規受け入れ資料の保存と目録の作成。

(6) その他事業 20 千円

地元団体、関連施設と連携した催事を開催する。

2 文化施設管理受託事業 16,473 千円

旧小澤家住宅管理事業

新潟市文化財に指定されていることを理解し、利用者へのサービスの向上に努め、旧小澤家住宅(情報案内所・藤ノ間・百合ノ間・道具蔵・離れ座敷等)の管理運営を行う。

1 付帯事業 20,353 千円

(1) 市民芸術文化会館付帯事業 17,941 千円

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努める。

- ① 友の会の運営
- ② ショップの運営
- ③ 飲食サービスの実施
- ④ 貸館公演チケットの受託販売
- ⑤ バックステージツアーの実施

(2) 音楽文化会館付帯事業 1,179 千円

来館者に対するサービスを充実するとともに、館の認知度を高めるため、施設に触れる機会の提供に努める。

- ① 自動販売機等の設置
- ② 貸館公演チケットの受託販売
- ③ 市民参加型企画の実施

(3) 県民会館付帯事業 29 千円

来館者に対するサービス充実のため、館のイメージアップを図り、施設に触れる機会の提供に努める。

- ① 貸館公演及び県内の他施設での文化芸術公演チケットの受託販売
- ② 自動販売機の設置
- ③ 各種サービス事業の実施

(4) 歴史博物館付帯事業 1,038 千円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行う。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機の設置

(5) 旧小澤家住宅付帯事業 166 千円

来館者に対するサービスの充実を目的に、旧小澤家住宅でしか手に入らないオリジナル商品をはじめ、和の文化、みなとまちや歴史に関するグッズ等を扱ったショップの運営を行う。

2 施設貸与事業 **203,719 千円**

来館者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出を行う。

- | | |
|------------|----------|
| ① 市民芸術文化会館 | (35,968) |
| ② 音楽文化会館 | (2,554) |
| ③ 県民会館 | (78,813) |
| ④ 歴史博物館 | (69,911) |
| ⑤ 旧小澤家住宅 | (16,473) |